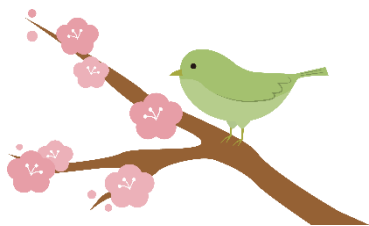


# 厳し美しの里 だより



発行者：厳し美しの里協議会  
(会長 小岩次男)

(事務局)

〒021-0101

一関市厳美町字沖野々116-6

一関市厳美市民センター内 鈴木

TEL29-2205 FAX29-2251

Genbicc.jp



令和4年3月1日発行 第33号



## 岩手宮城内陸地震 震災資料展示室オープン!!

2月7日(月)山谷分館にて、岩手県立一関工業高等学校による地域貢献「技術・知識を地域につなげるプロジェクト」の活動報告会並びに震災資料展示室のお披露目会が開催されました。今年度は岩手宮城内陸地震の教訓を後世に伝える手段として、震災後に避難所となった山谷分館に震災資料展示室を開設することを目標として活動していただきました。

工業高校生の活動の様子は1年間に亘り、まちづくりだよりでお知らせしてきましたが、いよいよ山谷分館に震災資料展示室が開設されました。展示室は、昨年6、7月の震源地並びに被災地踏査で空撮した写真が主に展示してある他、令和元年度の卒業生が作成した震災遺構旧祭時大橋の模型、工業生の活動の様子、プロジェクトに関する新聞記事などもご覧いただけます。また、スマートフォンでQRコードを読み込むと、ドローンで撮影した動画もご覧いただけるパネルも設置していただきました。震災資料展示室をピーアールするためにプロジェクトメンバーが手作りした看板、昨年の卒業生が制作したベンチも設置し、工業高校土木科ならではの展示室となっています。

見学を希望される方は平日(祝日を除く)午前8時30分~午後5時までに厳美市民センターへお問い合わせいただくか、厳し美しの里協議会ホームページ(genbicc.jp)のお知らせコーナーに山谷分館への出入りが可能な日時を掲載いたしますので、ご確認の上ご来場ください。

地域の皆様には岩手宮城内陸地震の記憶・記録も継続して募集しております。震災前後の写真や震災を経験していない世代に伝えたい体験談などございましたら、厳美市民センターまでお寄せください。

今年度の工業高校の地域貢献プロジェクトは活動報告会をもって終了となりましたが、来年度も厳美地域での活動を継続していただき、厳美地域の活性化のためにお力を貸していただきたいと思います。県立一関工業高等学校土木科の皆様、誠にありがとうございました。





空撮写真の説明をするプロジェクトリーダー斉藤君



震源地踏査等の活動の様子を説明する佐々木君



スマホでQRコードの読取方法を説明する熊谷君



QRコードの読み取りに挑戦



プロジェクトに関する新聞記事を熟読



少数精鋭で頑張った生徒たち

## ～厳美市民センター指定管理へ～

令和4年4月1日から厳美市民センター及び山谷分館、達古袋分館は厳し美しの里協議会の指定管理による管理運営が開始されます。

厳美地域の皆様、今後ともよろしく願いいたします。

4月1日午前10時から厳美市民センターにおいて、テープカットと紅白餅200袋をお振舞いいたします。記念すべき指定管理開始を地域の皆様と共に迎えたいと思いますので、ぜひお越しください。